



そら・うみだより 第3号

(学年だより)



園庭に紫陽花が咲き始めました。梅雨入りをし、雨の降る日が増えてきましたが、子どもたちは元気いっぱい遊んでいます。大型積み木で自分たちの場を作り友達と一緒にごっこ遊びをしたり、石けんを使った水遊びや草花を使った色水遊びをしたり、鬼遊びやドッジボールで体を動かしたりするなど、自分のしたいことを見付けて遊びを楽しんでいます。

土曜参観ありがとうございました!!

6月7日の土曜参観でのご協力ありがとうございました。お家の人が来てくれることや、お家の人と一緒にコリントゲーム作りができることを楽しみにしていた子どもたち。普段と異なる環境に緊張していた子もいましたが、返ってきたアンケートを読ませていただき、子どもたちにとってうれしい時間だったことが感じられました。

今回の参観では、普段なかなか体験できない釘打ちの活動や、親子の触れ合い遊びを取り入れました。釘打ちでは、親子の丁寧な関わりの中で、子どもたちが自分なりに考えたり粘り強く挑戦したりしてほしい、またそういった子どもたちの姿を保護者の方に近くで見えていただきたいと考えていました。自分で作ったことが満足感や達成感につながるようにと思っています。触れ合い遊びでは、講師の先生に教えていただき、大好きなお家の方とのスキンシップを楽しみながら様々な動きが体験できたと思います。親子での触れ合いや様々な体を動かすよい機会になるかと思しますので、ご家庭の遊びにもぜひ取り入れて楽しんでいただければと思います。

アンケートのご協力ありがとうございました。

たくさんのご感想・ご意見をありがとうございます。ほんの一部ですがご紹介いたします。

- ・触れ合い遊びも釘打ちも、親子で楽しめる活動で良かったです。
- ・釘打ちでは一生懸命取り組んでいた。難しいことができるようになって成長を感じました。
- ・触れ合い遊びは親子共々楽しめました。家でも触れ合い遊びをたくさんしたいと思います。
- ・友達と話したりクラスで歌を歌ったりと、みんなで関わり合いながら園での生活を楽しんでいる様子が分かり、良かったです。
- ・最後の動画視聴の後に、普段の写真などを見せてもらえると、より教育方針や園の方針が分かってよかったかなと思いました。

友達と意思を出し合いながら・・・

年長組になってから、友達と相談して決める機会をつくっています。

当番活動をしたり給食を一緒に食べたりする“生活グループ”を新しくした際には、グループ名を自分たちで相談して決めています。また、3～4人のグループで、園庭にある木の中でお気に入りの木を1つ決め、大きな画用紙に木を描くという活動にも取り組みました。相談には、相手に向けて自分の思いを伝えることだけでなく、相手の思いを最後までよく聞くことや、思いが異なったときには互いの思いに折り合いをつけていくことも必要です。それぞれが相手に伝わる形で思いを言葉で表せるよう関わったり、話の聞き方を知らせたりしながら、相談を進めていかれるようにしています。

友達と一緒に相談してものごとを決めていくことは、遊びの中でイメージを共有したり、思いを伝え合ったりする姿にもつながっていきます。こうした経験の積み重ねにより、意思を出し合いながら、自分たちで生活や遊びを進めようと思うようになってほしいと考えています。



いいね!

幹はこれくらいの太さ
にしよう!



次は葉っぱを塗ろう!

そうしよう!

グループの友達と同じ目的を
もって相談する。

③ 協同性



私はこっちの枝を塗るね!

私はここを塗るね!

自分の考えを言葉で伝えながら、
相手の思いも聞く。

⑨ 言葉による伝え合い

“泡” 研究所～石けんを使った水遊び～

石けんを使った水遊びでは、初めはおろし金で削った石けんに水を入れ水が白くなる様子を楽しんでいた子どもたち。遊んでいるうちに、混ぜたり、ボトルに入れて振ったりすると、泡ができることに気付きました。様々な道具を使いながら繰り返し泡を作ることを楽しむ中で、水の量を少なくしたり、泡立て器を使ってよりたくさん混ぜたり、泡立てネットやスポンジを使ったりすると、とろとろの泡やふわふわの泡など、様々な泡ができることにも気付き始めました。偶然できた泡の感触を楽しむ姿や、自分のイメージした泡を作るために作り方や必要な道具を考えながら泡を作る姿、また、友達の様子に刺激を受けて自分もしてみようと取り組む姿が見られます。今後も、子どもたちが様々なことを考え、試す姿を支えていきたいと思います。

繰り返し遊ぶ中でもものの性質に気付いたり、「こうしたい」と思ったことを実現するためにどうすればよいかを考え試行錯誤したりする過程は、子どもたちの学びにつながります。

削るとふわふわ
になった！



とろとろの泡が
できた！



ものの性質に気付き、自
分なりに考えたり試し
たりして関わる。

6 思考力の芽生え

生活習慣のポイント ～傘を自分で畳んでいますか～

雨が降る日が増え、傘を使う機会が増えています。登降園時の子どもたちの様子を見ると、傘を自分で畳まずにお家の方に頼っている姿や、自分でしようとしてもうまくできずに困る姿が見られます。

小学校に行くと子どもたちは、自分で傘をさし、自分で傘を畳んで教室に入ります。近くに頼れる人がいるとは限らず、自分でできないと子どもたちが困ることになります。

園では、雨が降った日に、傘の始末を自分でしたかを聞いたり自分で始末した子どもたちの姿を認めたりしながら、自分でできるよさを感じて取り組めるよう関わっています。雨が降ったときを活用し、ぜひご家庭でもお子さんが自分でできるよう具体的な方法を知らせたり、自分から取り組む姿を認めたりしていただければと思います。園でも引き続き、自分でできることが増える喜びを大切にしながら見守り、支えています。

連絡事項

①着替え袋の中身の入れ替えをお願いします

- 汗や水遊びなどで服が汚れることが予想されます。

着替え袋の中身を確認していただき、入れ替えをお願いします。

2 セットは常に入れておいていただくと安心かと思います。

- 梅雨は肌寒い日もあるので、長袖 T シャツやおる物などを入れておくとういと思います。

※汚れたものを入れるビニール袋（記名をしてください）は、必ず入れておいてください。

着替えやビニール袋を使ったらその都度補充をお願いします。

②七夕の短冊について

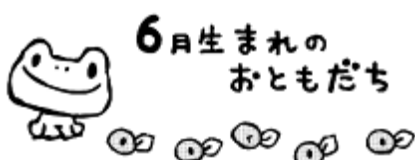
- 6月20日（金）に、自分で模様をつけた短冊を2枚持ち帰ります。
- 模様のある方を表にして、1枚はお子さんの願い事、もう1枚は家族の願い事を書いてください。

※1 どちらもお子さんの名前を表に記入してください。

幼児同士で見合えるように、願い事と名前は、ひらがなで書いてください。

※2 願い事は、こうなりたいという気持ちがもてるようなものを書いてください。

- 6月30日（月）までに持ってきてください。



おたんじょうび おめでとう！